

新規就農先輩の軌跡 No.118

<p>新規就農者の素顔</p> <p>氏名：久國 二郎 住所：神戸市西区岩岡町 年齢：53歳</p> 	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：50a（借地50a） 施設：ビニールハウス 1,400㎡ 経営内容：施設野菜 チンゲン菜30a 小松菜50a いちじく16a成園、20a育成 労働力：本人、妻、2名、 パックセンターの活用 出荷先：JA部会系統出荷、 個人出荷（量販店、直売所、インショップ）</p>  <p>いちじくの栽培状況</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2011年 ひょうご就農支援センター 新規就農駅前講座受講 2012年 楽農生活センター 生きがいコース受講 JA兵庫六甲新規就農者塾入塾 2013年 親方農家のもと農業研修 2014年 就農（施設軟弱野菜+いちじく） 2018年 ハウス建築、いちじく新植 現在に至る</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの工夫と努力で、品質向上や収量の確保が行えること。 生産・販売と一貫して行えるので自らセルフプロデュースできる。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象災害の影響を受けやすい（台風による棚の崩壊、病害虫被害等） 経営者であり、資金確保も行わないといけない。
<p>農業をめざした動機</p> <ul style="list-style-type: none"> 23年間の会社員生活に『もの足りなさ』を感じていた。もっと自分が主体的に働ける仕事、『やりがいのある仕事』をさがしていた。 当時、メディア等で農業にスポットがあたっていた事もあり、新たな仕事として興味を持った。 	<p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業に取り組めたのも、地域の先輩農家の力強い提案と支援をいただいたお陰だった。人の縁を大事にし、自分が支援してもらった事を地域や新規栽培者に返してください。 農業は、計画も重要ですが、計画通りに行かないことも多いので、こだわりと柔軟さを持ち合わせて下さい。